

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 地域活動が盛んでそれぞれのエリアでの「地域ささえあい活動」は活発ですが、担い手不足の課題を抱えています。エリアによっては、住宅地が一斉開発されたため、一気に高齢化が進む状況となっています。また山坂が多く、交通手段が限られるエリアの高齢者にとっては移動困難な状況を生み出しています。そのため新しい「支えあいの仕組みづくり」が求められてきています。		
— 具体的な取組内容 —		
新規	継続	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	まだまだケアプラザのことを知らない方がいて、相談する場所がわからないという声を聞くので、情報が届きにくいエリアのサロンやシニアクラブ等に出向き情報提供を実施します。「広報誌」や「なるほど健康情報」を手にとってわかりやすい情報として発行していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の困りごとや相談に対応していくには、専門職だけでなく身近な住民同士のつながりもとても重要です。そのため地域ケア会議や協議体を開催し見守りをしてきている住民と専門職をつなぐことをしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動が活発で趣味や健康に資するサークルも多数活動していますが、新しく参加できる方を増やすためにそのような情報を活用しやすい「お役立ち情報」として整理し、随時更新していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新しい担い手発掘のために男性向け講座を実施し、地区別の福祉保健計画に沿った活動をサポートするために事業への企画、参加をしたり、チラシの作成などを行います。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	相談内容で関心の高い、相続や成年後見について個別相談会を企画し、将来に対する不安の解消につなげます。また介護予防に関心の高いエリアなので通年を通して「介護予防事業」をケアプラザで実施しこれまでケアプラザに来たことがなかった方も足を運んでもらえるようにします。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り ●これまでの広報誌の内容を見直し日ごろの相談でひろった「わかりにくい」の声になるべく応えるような「包括支援センター」や「介護保険制度」の特集ページを組みました。また新橋ケアプラザ独自のパンフレットを作成し気軽に相談できる場所としての告知を積極的に実施しています。●コーディネーター・包括で継続参加しているサロン・体操教室などの地域活動は約20以上にのぼり、新しく立ち上がったシニアクラブの後方支援や企業(銀行)との連携もスタートしました。●継続課題である担い手発掘では個人的なボランティアの新規登録はあったものの、地域活動の担い手に結びつくところまでは至っていません。支援を受けている側がボランティアに結びつくケースがあり、「できることを支援する」柔軟な発想でボランティアサポートをしています。●泉サポートプロジェクトと協働で取り組んでいる移送支援では新たに「買い物支援」の課題が浮上しています。「買い物支援」のニーズには「買い物代行」と「買い物外出支援」とニーズが分かれておりどのような方法で展開していくのか来年度への重点取組課題となっています。●エリアの相談内容より成年後見制度等へのニーズが高いと見て「成年後見制度個別相談会」を実施しましたが、ニーズは成年後見制度というより相続や財産管理であることがわかりました。今後は関連する講座を開催していく予定です。●岡津ケアプラザの開設に伴い12月に包括エリアが変更されました。地域住民の混乱を引き起こさないように、岡津ケアプラザといずみ野ケアプラザとの連携に尽力していきます。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント (地域活動交流) ・自主企画事業については、地域のニーズを分析し、毎年新たな取組を企画できています。今後はこれまであまり行っていなかった障害者を対象とした自主企画事業の実施についても期待しています。 ・6職種ミーティングは毎月決まった日に定例で開催することで、ほぼ全員が参加し、職員の連携体制の基礎が構築できています。 (地域包括支援センター) ・認知症サポーター養成講座、成年後見個別相談会、ケアマネサロン等、各事業において試行的な取組も含め積極的に行っています。岡津地域ケアプラザの新設に伴い、連絡調整を丁寧に行い、円滑な引継ぎをしていただきました。 ・今年度、担当エリアがスリム化され、来年度はそのエリアで本格的に取り組んでいく年度になると思います。今年度の課題も踏まえ、継続的・発展的な取組を期待します。 (生活支援体制整備事業) ・ケアプラザ圏域内に異なる地域性をもった地区があり、それぞれの地区に応じた支援を行っています。買物支援については、住民が何を求めているのかを把握しており、社会福祉法人の車両提供に加え、交通事業者との連携も図るなど、様々な選択肢の提供ができるよう検討が進められています。 ・地域住民主体の取組について生活支援コーディネーターが参加をしながら関係づくりを行っています。担い手の発掘は他地域でも課題となっていますが、ケアプラザと住民との関係性を深めるきっかけづくりが継続して進められることを期待しています。		